

**美しく、安全で、  
いきいきした海岸を目指して**

～平成19年度海岸事業予算概算要求概要～

平成18年8月

国土交通省 河川局 海岸室

## 目 次

### I. 平成19年度 海岸事業予算概算要求にあたって

第1 厳しい海岸事業予算	1
第2 切迫する大規模地震への備えが急がれる津波対策	2
第3 壊滅的被害を及ぼす高潮・高波	4
第4 近年急速に進行している海岸侵食	6
第5 深刻な海岸漂着ゴミ問題	7
第6 ゆるがせにできない日本の国土保全	8
第7 地球温暖化に伴う海面上昇への対応	9

### II. 平成19年度 海岸事業予算概算要求の概要

#### 第1 概算要求の概要

1. 基本的な考え方	10
2. 平成19年度海岸事業概算要求総括表	11

#### 第2 平成19年度 海岸事業新規・重点事項等

1. ゼロメートル地帯等における緊急津波・高潮対策	12
2. 沖ノ鳥島の管理・保全の充実と利活用策の検討	13
3. 災害関連事業による直轄海岸の緊急的な防護機能確保	14
4. 大規模な海岸漂着ゴミの緊急的な処理	14
5. 直轄事業による海岸保全対策の一層の推進	15
6. 諸課題に対応する海岸事業調査費の充実	16

#### 第3 事業の効率的・効果的实施に向けた取り組み

1. 効率的・効果的な事業の実施	17
2. 防護・環境・利用の調和した海岸事業の推進	19
3. 事業効果の事例	22

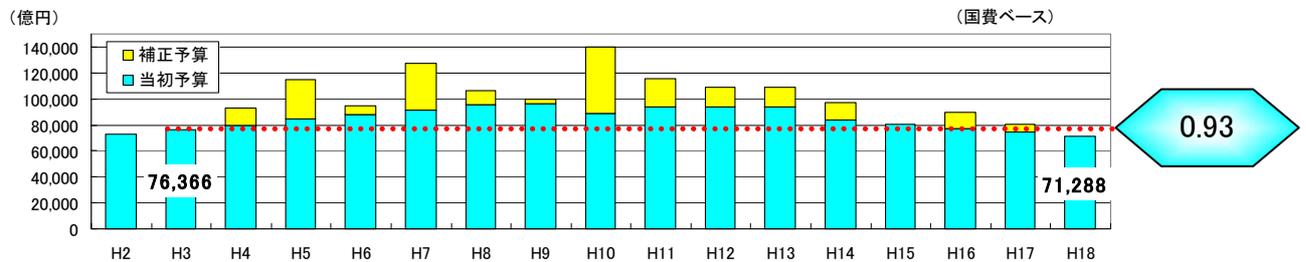
#### 第4 事業の客観性・透明性の確保

#### 第5 地域との連携の促進と海岸愛護の啓発

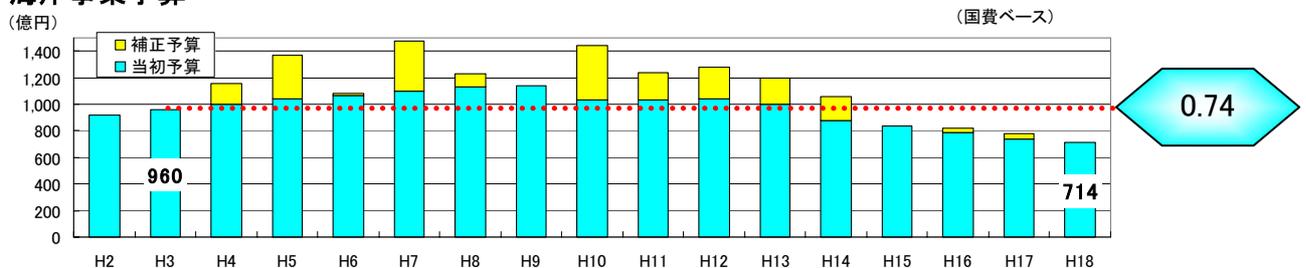
# Ⅰ. 平成19年度 海岸事業予算概算要求にあたって

## 第1 厳しい海岸事業予算

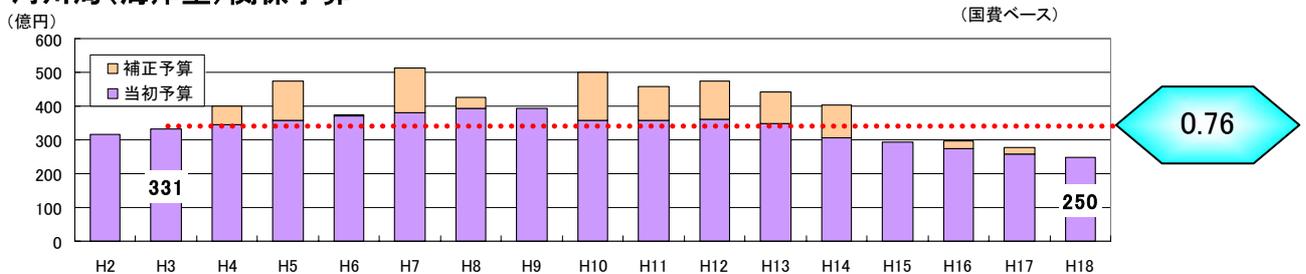
### 一般公共事業予算



### 海岸事業予算



### 河川局(海岸室)関係予算

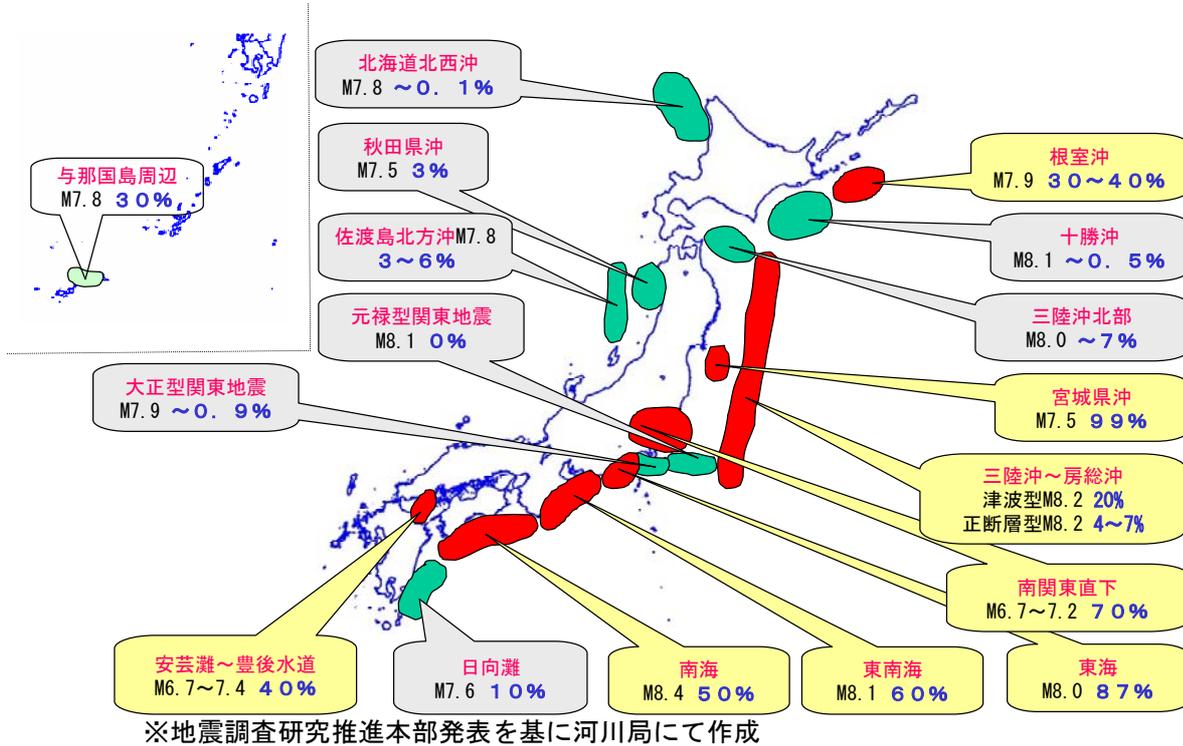


①伸率は、景気対策としての補正予算が編成される前の平成3年度と比較したもの。

②災害復旧に係る費用を含んでいない。

## 第2 切迫する大規模地震への備えが急がれる津波対策

### (1) 今後30年以内の地震発生確率と規模



### (2) 我が国の津波対策

#### ○「津波対策検討委員会」提言(H17. 3. 16)

平成16年12月に発生したスマトラ島沖地震を踏まえて、国内の津波対策の現状と課題について総点検を行い、今後の基本的な方針をとりまとめるため国土交通省内に有識者等による「津波対策検討委員会」を発足。平成17年3月に提言を公表。

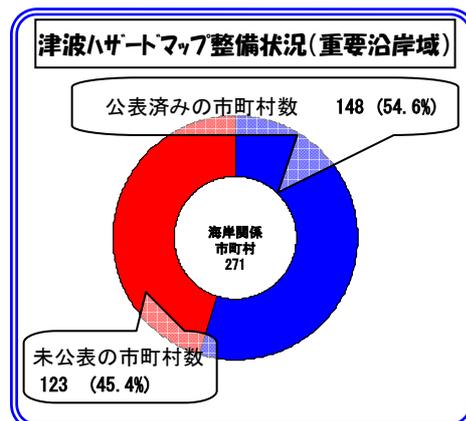
※国交省関係部局(1官房10局2庁1院1研究所)を海岸室が実質的事務局としてとりまとめ

**緊急的対策(概ね5年以内に対応)の一部(海岸事業に係るもの)**

◎重要沿岸域の全ての市町村で津波ハザードマップが策定出来るよう、津波浸水想定区域図を作成、公表

- 津波ハザードマップの作成市町村は、重要沿岸域で55%であり、策定が進んでいる。(平成16年5月時点では、14%)

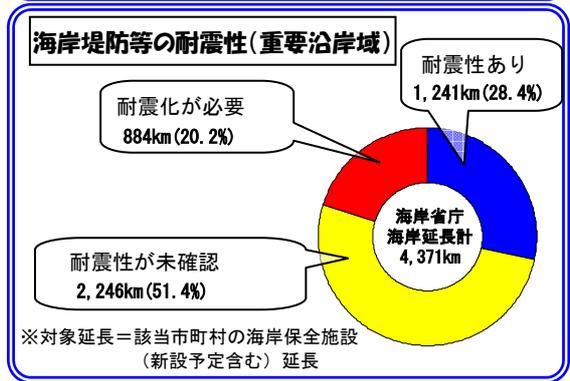
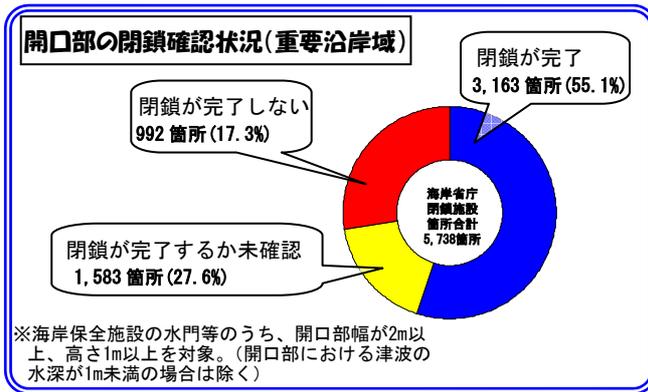
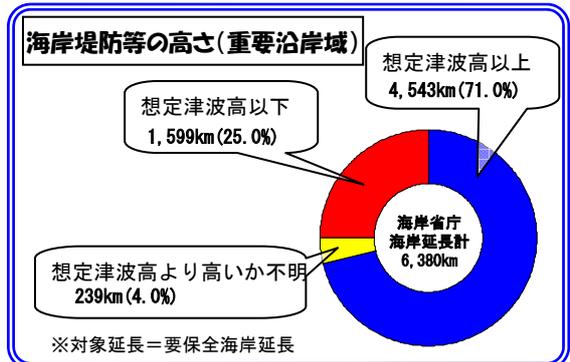
- ※ 数値は、H17. 12海岸省庁調べによる
- ※ 重要沿岸域とは、東海地震、東南海・南海地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による津波被害が想定される沿岸域



◎重要沿岸域のうち地域中枢機能集積地区において、開口部の水門等の自動化・遠隔操作化等を概成、堤防等の耐震化、嵩上げの整備を促進

- ・ 海岸堤防の耐震化レベルは依然として低い。

耐震性の未確認が51%  
耐震化必要が20%

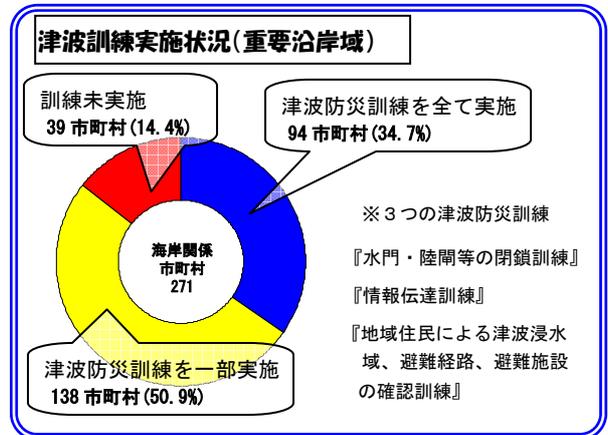


◎津波防災技術・知識の蓄積のため、大規模津波防災総合訓練を毎年実施

- ・ 国土交通省主催による世界初の津波に特化した大規模実動訓練を毎年実施。

平成17年 和歌山県御坊市  
平成18年 徳島県小松島市

※総合防災訓練大綱に位置付け



<平成18年度大規模津波防災総合訓練(徳島県小松島市)>



住民避難訓練



水門・陸閘閉鎖訓練



海上漂流者救助訓練

### 第3 壊滅的被害を及ぼす高潮・高波

#### ○ 浸水家屋4万戸を超える大規模高潮災害(H16 台風 16 号)

香川、岡山、広島県を中心に 44,000 戸が浸水。高松市では都市機能が麻痺。



(広島県東広島市)



(香川県高松市)

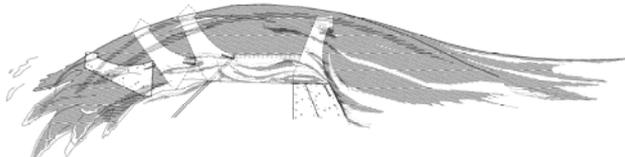
#### ○ 計画を大幅に超える高波による壊滅的被害(H16 台風 23 号、高知県室戸市)

菜生海岸の海岸堤防が 30m 倒壊・流失。3名死亡、4名負傷、13戸被災。



#### ■ 観測史上最大<sup>※1</sup>の波が来襲し、これまで経験したことのない形態で被災

波圧によりパラペットが滑動し、民家前面付近まで飛散



	今回	全国既往最大
波高 <sup>※2</sup>	13.55m	11.37m
観測所	室津波浪観測所 (H16. 10)	御坊沖観測所 (S62. 10)

※1 全国港湾海洋波浪情報網(ナウファス)の観測史上(昭和45年~)で最大  
 ※2 有義波高: 波高の大きいものから順番に全波数の1/3を抽出し平均した値

#### ○ ゼロメートル地帯における大規模な高潮災害(H17 ハリケーン・カトリーナ、米国)

米国ニューオーリンズで大規模な高潮災害。市域の約 7 割がゼロメートル地帯であり、ひとたび高潮災害に襲われると壊滅的打撃を被ることを改めて認識。



進路: 8月25日にフロリダ半島に上陸・横断し、メキシコ湾に抜け、勢力を増した上で、ニューオーリンズ付近の海岸に再上陸  
 勢力: 最大時でカテゴリー5 (風速70m/s~、中心気圧920hPa以下)



街の大通りの浸水状況



浸水した市街地中心部



破堤箇所

## ○「ゼロメートル地帯の高潮対策検討会」提言(H18. 1. 17)

1, 300人以上の死者を出した昨年8月のハリケーン・カトリーナによる大規模高潮災害を踏まえ、わが国のゼロメートル地帯の高潮対策のあり方について専門的な見地から検討を行い、提言としてとりまとめ。

### ゼロメートル地帯のこれまでの高潮対策と昨今の状況

#### これまでの高潮対策

- ・三大湾のゼロメートル地帯においては、伊勢湾台風級の台風を想定しハード整備を中心とした高潮対策を展開
- ・伊勢湾台風以後、甚大な災害はなく、高水準の安全性を前提とした経済社会活動が展開している背景を踏まえると、これまでの高潮対策は計画規模と進捗の度合いを総合的に勘案すれば概ね適切

#### 高潮対策を取り巻く昨今の状況

- ・防護施設の老朽化の進行、耐震性の不足
  - ・整備水準を超える高潮の発生、高潮と洪水による複合災害の発生の懸念
  - ・長期的には地球温暖化による海水面の上昇、台風の強大化の懸念
- ↓
- ・400万人以上が居住し、わが国の中枢機能を担う三大湾のゼロメートル地帯が一旦大規模浸水したとすれば、社会経済への打撃は膨大
  - ・わが国の存立が懸かっているという点で「国土防衛」として認識した危機管理対策が重要

### ゼロメートル地帯の今後の高潮対策の基本的方向

- ①これまでの高潮計画に沿って浸水防止に万全の対策を講じるため、防護施設の着実な整備及び信頼性の確保に最も重点を置くものの、
- ②不測の事態に備え大規模な浸水を想定した場合の被害最小化対策を講じること

### 推進すべき具体的施策の一部（海岸事業に係るもの）

#### 1. これまでの高潮計画に沿って浸水を防止するための万全の対策

- ◎防護施設の着実な整備
  - 堤防護岸の老朽化・耐震対策
- ◎防護施設の信頼性の確保
  - 堤防護岸の耐震性、老朽化の再点検／緊急対策が必要な箇所を計画的整備

#### 2. 大規模浸水を想定した被害最小化対策

- ◎個々の地域の危険度が実感できる情報提供
  - 高潮ハザードマップ作成促進／市街地内での水位情報表示
- ◎危機管理行動計画の策定

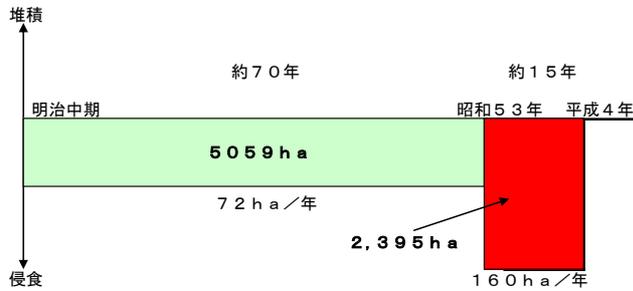
#### 3. 高潮防災知識の蓄積・普及

#### 4. 高潮災害に関する更なる安全に向けての検討課題

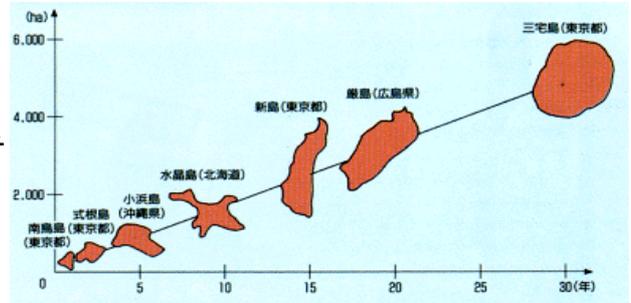
# 第4 近年急速に進行している海岸侵食

近年、全国各地で海岸侵食が生じ、かけがえのない国土が失われている。

砂礫海岸における侵食速度の変化



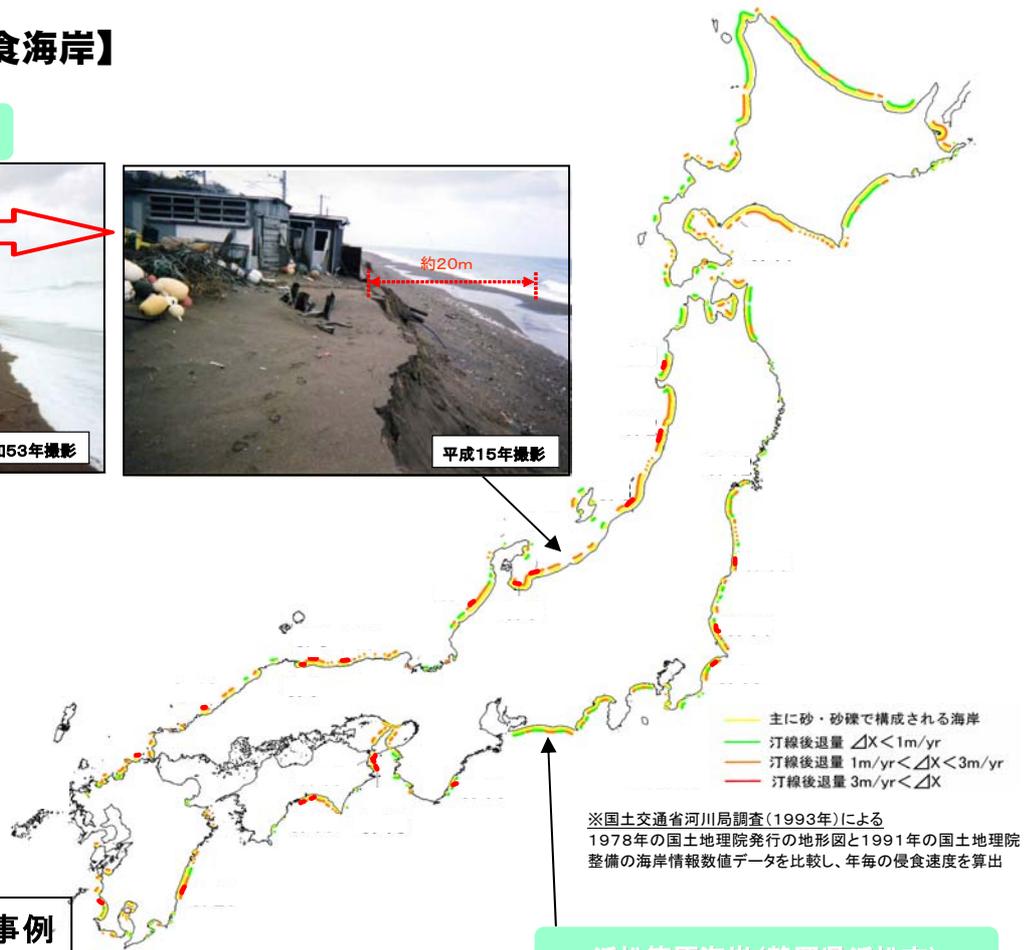
今後予想される侵食量(160ha/年を想定)



※出典：田中茂信、小笠井衛、深沢満(1993)：地形図の比較による全国の海岸線変化、海岸工学論文集 第40巻(1993)

## 【対策が急がれる侵食海岸】

竹鼻海岸(新潟県上越市)



海岸侵食による被災事例



浜松篠原海岸(静岡県浜松市)



## 第5 深刻な海岸漂着ゴミ問題

日本沿岸では、国内に限らず外国由来のものを含めた大量の漂着ゴミが異常に堆積し、これを放置した場合、海岸保全施設の防護機能の阻害や良好な海岸環境の悪化が懸念。

また、近年では使用済みの注射器や危険性の高い薬品瓶などの医療系廃棄物を始め、破裂の恐れのあるガスボンベや信号筒などの危険物が各地に漂着し、海岸利用者が被害を受ける事例も発生。

### 【大規模な海岸漂着ゴミの状況】



■ 流木と一緒に漂着したゴミの状況



■ 流木と一緒に大型ゴミが漂着



■ 海岸に大量に漂着したゴミ



■ 消波機能が損なわれた消波工

### 【海岸に漂着した危険物】



使用済み注射器（医療系廃棄物）



信号筒

## 第6 ゆるがせにできない日本の国土保全

沖ノ鳥島は、国連海洋法条約に基づき、日本の国土面積より広い約40万 km<sup>2</sup>の排他的経済水域や、広大な大陸棚を有する極めて重要な島。

現在、沖ノ鳥島は国が全額国費で直轄管理しており、引き続き適切に維持管理していく必要。



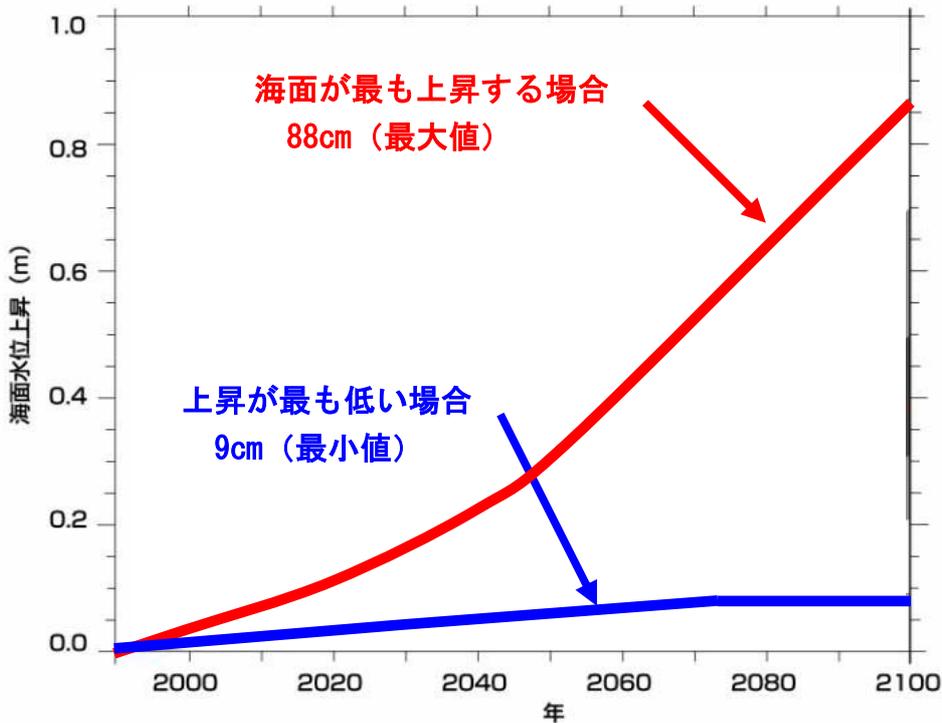
沖ノ鳥島位置図及び排他的経済水域



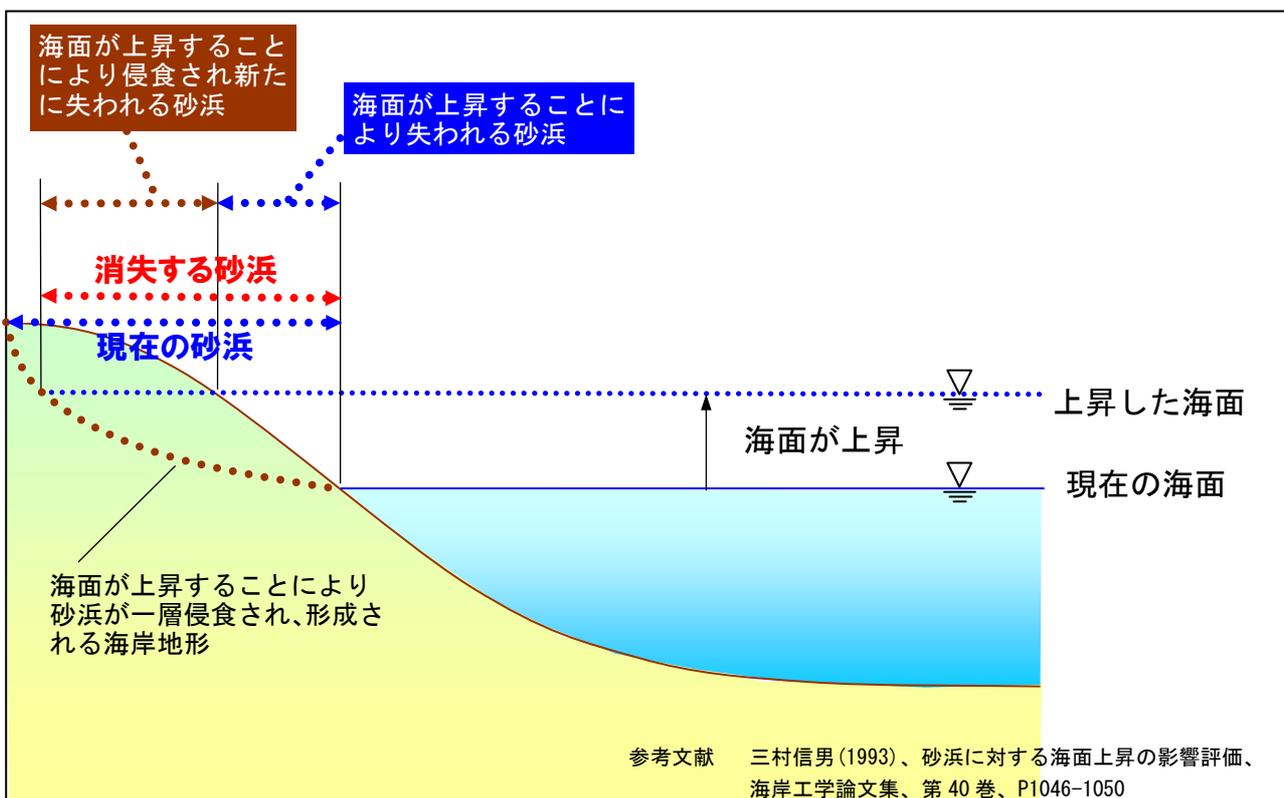
沖ノ鳥島全景 平成12年7月撮影

## 第7 地球温暖化に伴う海面上昇への対応

海面が仮に1m上昇すれば、砂浜が約9割消失すると専門家が指摘。



※IPCC 地球温暖化第3次評価報告書より作成



海面上昇に伴う砂浜の消失(イメージ図)

## II. 平成19年度 海岸事業予算概算要求の概要

### 第1 概算要求の概要

#### 1. 基本的な考え方

前章に掲載した諸問題を念頭におき、平成19年度予算概算要求にあたっては、下記の事項を重点として、海岸保全施設等の整備を効率的・効果的に推進することとし、

事業費409億9420万円、国費277億5600万円を要求。

#### ゼロメートル地帯等における緊急津波・高潮対策の推進

○切迫する大規模地震の発生や昨今頻発する高潮災害に対して、ゼロメートル地帯や重要沿岸域等における浸水被害を防ぐため、海岸堤防の耐震対策、老朽化対策等を重点的に実施

#### 沖ノ鳥島の管理・保全の充実と利活用策の検討

○わが国の国土保全上極めて重要な沖ノ鳥島の維持管理及び保全を一層充実させるとともに、関係省庁とも連携しつつ同島の利活用策を検討

#### 災害関連事業による直轄海岸の緊急的な防護機能確保

○直轄海岸災害関連緊急事業を創設し、被災箇所隣接部を含めた一連区間で改良工事を実施し、隣接部の災害を未然防止

#### 大規模な海岸漂着ゴミの緊急的な処理

○災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業を拡充し、海岸保全施設の機能阻害の原因となる大規模な漂着ゴミを緊急に処理

#### 直轄事業による海岸保全対策の一層の推進

- 宮崎海岸（宮崎県宮崎市）の新規直轄海岸着手
- 新潟海岸（新潟県新潟市）の直轄区間延伸

## 2. 平成19年度海岸事業概算要求総括表

【単位：百万円】

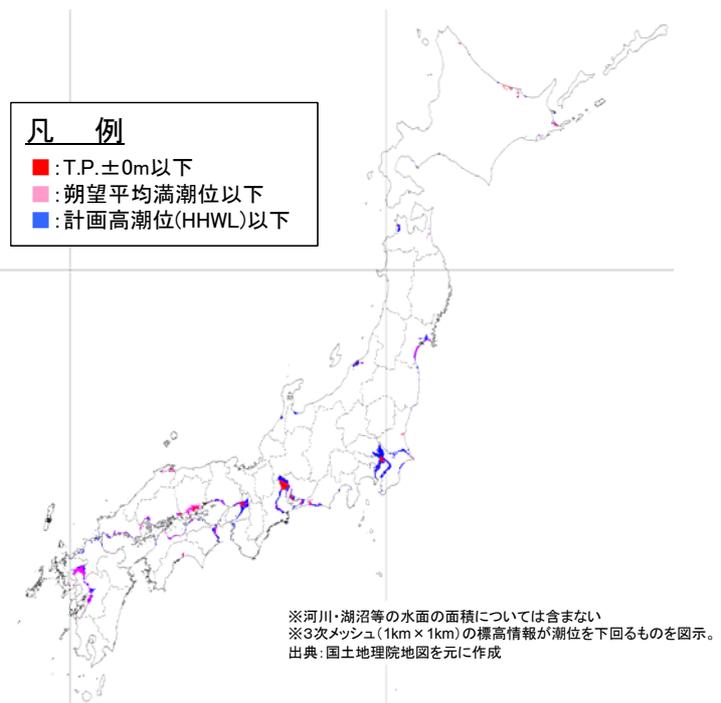
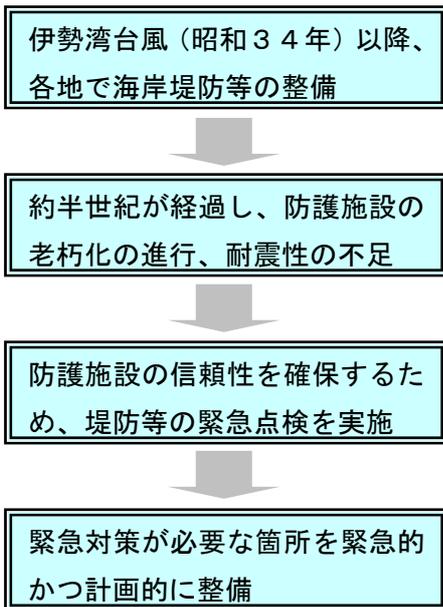
区 分	平成19年度要求額		平成18年度(当初)		倍 率	
	事業費	国 費	事業費	国 費	事業費	国 費
直轄海岸保全施設整備事業費	11,686.0	11,686.0	10,143.7	10,143.7	1.15	1.15
海岸保全施設整備事業費補助	23,464.2	11,945.5	21,795.7	11,103.5	1.08	1.08
高潮対策費補助	11,045.0	5,923.9	10,473.0	5,586.9	1.06	1.06
侵食対策費補助	9,576.2	4,933.1	9,010.2	4,646.6	1.06	1.06
局部改良費補助	2,350.0	877.5	1,907.5	735.0	1.23	1.19
補修費統合補助	213.0	71.0	405.0	135.0	0.53	0.53
耐震対策緊急事業費補助	280.0	140.0			皆増	皆増
津波・高潮危機管理対策緊急事業費統合補助	4,001.0	2,000.5	3,197.0	1,598.5	1.25	1.25
津波・高潮危機管理対策緊急事業費統合補助	4,001.0	2,000.5	3,197.0	1,598.5	1.25	1.25
海岸環境整備事業費補助	1,326.0	442.0	1,653.0	551.0	0.80	0.80
海岸環境整備事業費補助	1,266.0	422.0	1,653.0	551.0	0.77	0.77
海域浄化対策事業費補助	60.0	20.0			皆増	皆増
直轄海岸維持管理費 (沖ノ鳥島の維持管理)	221.0	221.0	221.0	221.0	1.00	1.00
海岸事業調査費	296.0	296.0	269.3	269.3	1.10	1.10
後進地域特例法適用団体等補助率差額		1,165.0		1,126.0		1.04
直轄事業計	12,203.0	12,203.0	10,634.0	10,634.0	1.15	1.15
補助事業計	28,791.2	15,553.0	26,645.7	14,379.0	1.08	1.08
合 計	40,994.2	27,756.0	37,279.7	25,013.0	1.10	1.11

## 第2 平成19年度 海岸事業新規・重点事項等

### 1. ゼロメートル地帯等における緊急津波・高潮対策

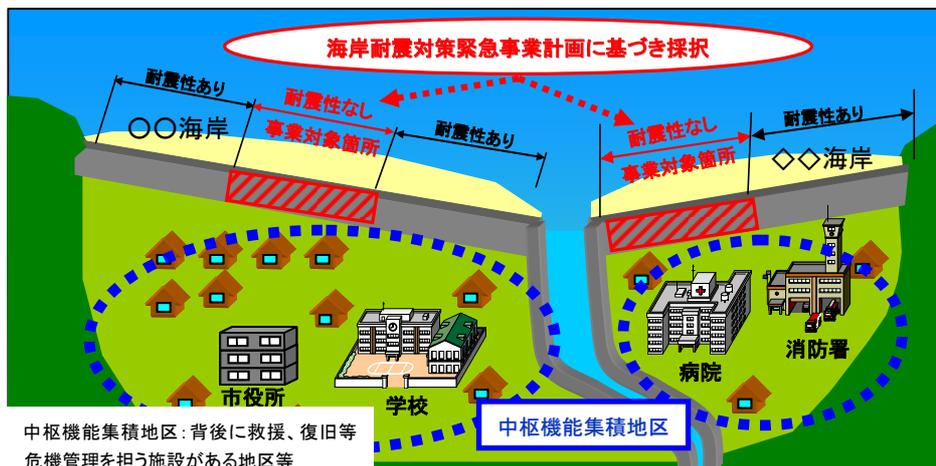
浸水被害に対して極めて脆弱な地域であるゼロメートル地帯や大規模地震の発生が危惧される地域において、堤防等の耐震対策・老朽化対策、水門・陸閘の閉鎖機能の確保等を緊急的・重点的に推進。

#### 応急対策計画に基づき緊急整備

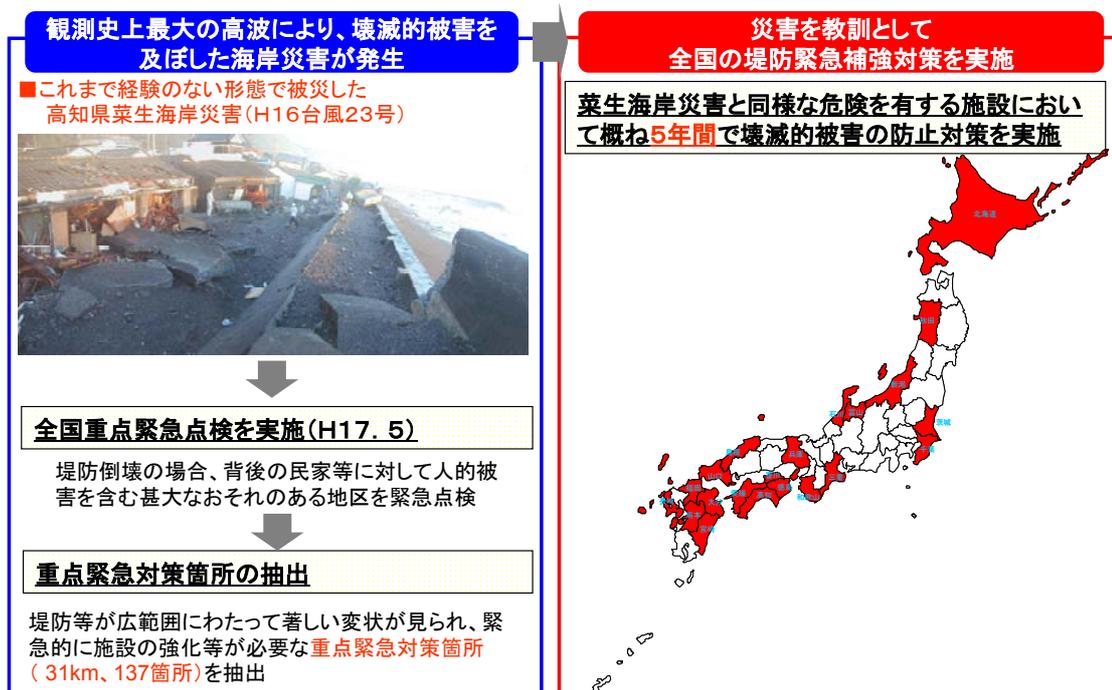


#### <海岸耐震対策緊急事業の創設> **新規**

ゼロメートル地帯や地震防災対策強化地域等のうち、中枢機能集積地区を有する海岸において、海岸管理者が策定する5ヶ年程度の「海岸耐震対策緊急事業計画」に基づき、短期間に集中して耐震対策を実施。



菜生海岸災害の教訓を踏まえ、堤防等に広範囲にわたって著しい変状が見られるなど、堤防倒壊の場合、背後の民家等に対して人的被害を含む甚大な被害が生じるおそれのある地区(全国で31km、137箇所)について、緊急補強対策を概ね5年間で実施。



## 2. 沖ノ鳥島の管理・保全の充実と利活用策の検討

沖ノ鳥島は、我が国最南端の領土であり、周辺海域における我が国の国際法上の権利、すなわち国土面積を上回る約40万km<sup>2</sup>の排他的経済水域の権利の基礎となる極めて重要な島であることから、国土保全・利活用の重要性に鑑み、国の直轄管理により十全な措置を講じるとともに、その前提の上に可能な利活用策を検討。

沖ノ鳥島の維持管理については、引き続き施設の点検や補修等を実施。作業架台については、設置後十数年が経過し著しく老朽化が進んでいることから、抜本的補修を検討。

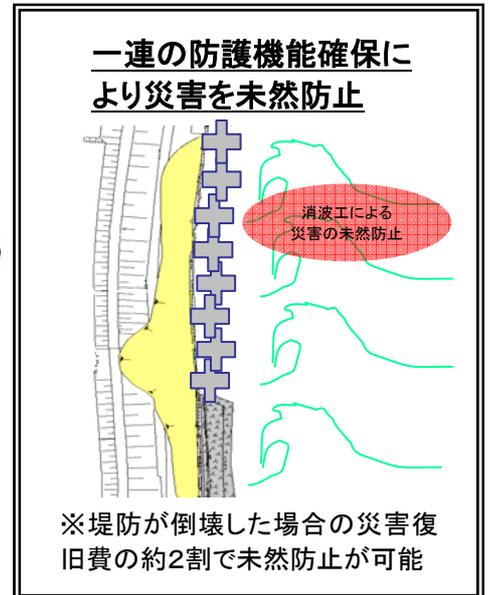
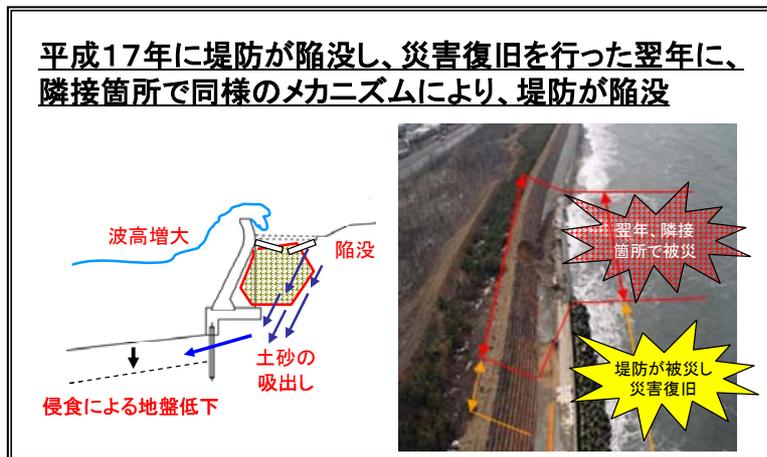
また、サンゴの増殖による島の保全対策とあわせ、島の保全や礁内・周辺海域の利活用に必要となる電力等の確保方策を引き続き検討。



### 3. 災害関連事業による直轄海岸の緊急的な防護機能確保

#### ＜直轄海岸災害関連緊急事業の創設＞**新規**

直轄で工事を実施している海岸において災害が発生し、被災箇所を復旧しただけでは隣接する箇所で再度同様の災害が発生するおそれがある場合、隣接部においても緊急的に改良工事を行い、一連の防護機能を確保する直轄海岸災害関連緊急事業を創設。



### 4. 大規模な海岸漂着ゴミの緊急的な処理

#### ＜災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業の拡充＞**新規**

大規模な漂着ゴミは、海岸堤防・砂浜等の消波機能の低下、水門の防潮機能への障害等、海岸保全施設の機能阻害の原因となることから、災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業の対象を拡充し、大規模な漂着ゴミを緊急的に処理。



大規模な漂着ゴミを含む流木等の堆積により消波機能が低下した海岸

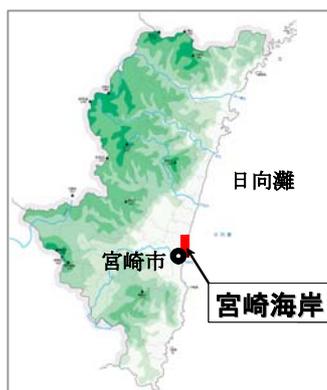
## 5. 直轄事業による海岸保全対策の一層の推進

### ○宮崎海岸における海岸保全施設整備事業の推進

新規直轄化要求する宮崎海岸（延長8.9 km）は約40年間で平均約40 m（最大90 m）の砂浜が侵食され、一ツ葉有料道路目前まで浜崖が迫るなど、越波被害や重要幹線道路の流失など、地域経済への影響は甚大となるおそれ。

侵食に影響する沿岸漂砂が及ぶ延長の長い一連の海岸線全体で効果的な対策を講じるため、海岸管理者だけでなく、ダム、河川、港湾、漁港等の管理者も含めて総合土砂管理の考え方のもと保全対策を実施。

位置図



### ○新潟海岸における海岸保全施設整備事業の推進

直轄延伸要求する新潟海岸金衛町工区（延長2.9 km）は、明治22年から約140 m侵食が進み、現在では、海底地形の侵食傾向が沖合にも進行し、施設災害が頻発しており、新潟市街地への影響が甚大となるおそれ。

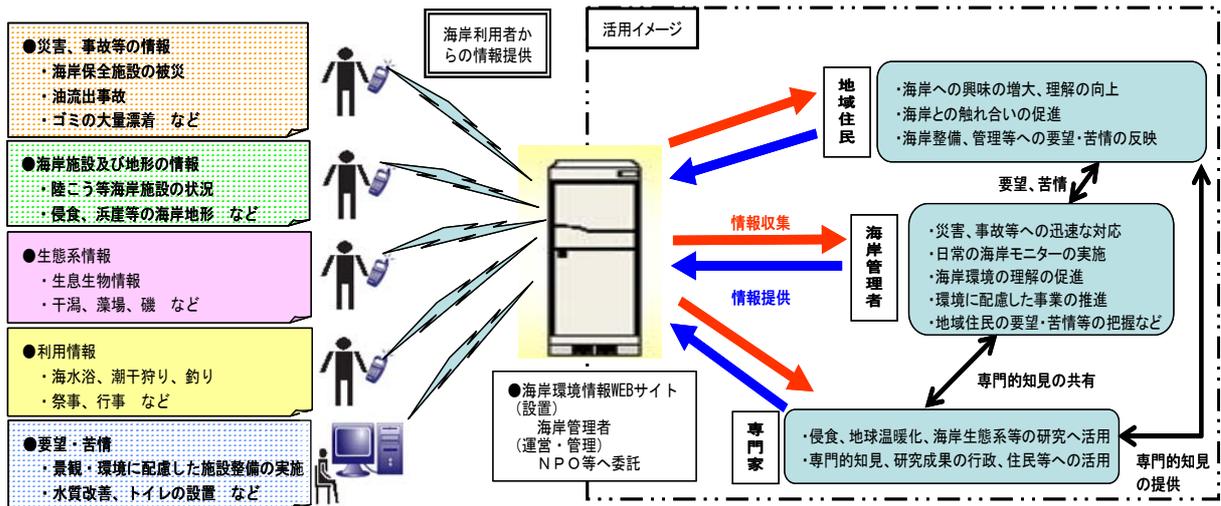
広域にわたる侵食制御と砂浜安定化を図るため、海岸管理者、港湾管理者、河川管理者等の連携のもと、なるべく施設に頼らず複雑な沿岸漂砂管理を適切に組み合わせた保全対策を実施。



## 6. 諸課題に対応する海岸事業調査費の充実

### ○海岸環境情報システムを活かした新たな海岸管理方策の検討

海岸管理に必要な情報を広範・効率的に収集するために、NPO、地域住民、海岸利用者等の協力を得ながら広範囲の海岸環境情報を迅速かつ的確に吸い上げ、処理する継続的なモニター体制、通報システム等を可能とする海岸環境情報システムを構築し、これを活かした新たな海岸の管理方策を検討。



海岸環境情報システムイメージ

### ○海岸保全施設カルテを活用した効果的・効率的な事業執行・管理方策の検討

海岸保全施設のより効果的・効率的な機能発現のため、海岸保全区域台帳等の基礎データに加え、平時の点検結果、重要水防箇所等の防災データ等を総合的にデータベース化した海岸保全施設カルテを作成し、適切な維持管理、円滑な水防活動等に役立てる。また、事例を収集分類し共有することにより、コスト縮減や一層の整備効果発現等の取り組みを促進。

### ○高潮防護施設の点検手法の高精度化等確実な信頼性確保に関する調査研究

ゼロメートル地帯等において高潮による破堤が生じた場合に想定される被害は極めて深刻であり、既存の防護施設の信頼性を確実に確保する必要があることから、高潮防護施設の効率的な維持管理に資する点検手法の高精度化、信頼性評価、補修技術及び老朽化対策に関する調査研究を行う。

### ○3D電子地図による国土保全の推進

東南海・南海、東海地震時の避難警戒システム（いわゆるハザードマップ策定等）に活用するため、航空機からのレーザー測量により、海岸域の標高を広範囲に高精度でカバーする3D電子地図を構築。平成19年度に太平洋側の全沿岸域について測量を完了。

### 第3 事業の効率的・効果的实施に向けた取り組み

#### 1. 効率的・効果的な事業の実施

異なる所管海岸を一連施設として整備する制度の活用(海岸法第40条第2項)

海岸法では、国土交通大臣と農林水産大臣が協議して、1大臣が一連施設として所掌する仕組みが規定されている。この法規定を適切に運用し、事業の連携を図るとともに今後も当該制度の活用を積極的に推進。

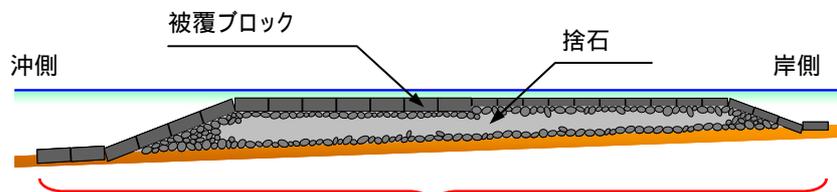


異なる所管の海岸保全施設の整備を協議の上、国土交通省(河川局)所管で一体的に事業を実施

#### 計画・設計を見直すことによるコスト縮減の実施

人工リーフを整備するにあたって、当初計画の構造を別途工事で発生する消波ブロックを再利用できる構造に見直すことにより、コスト縮減を図る。【鳥取県 皆生海岸】

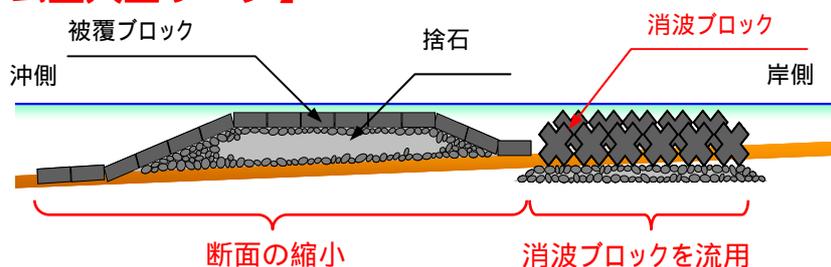
#### 【従来の人工リーフ】



当初計画形状

1基当たり約10%コスト縮減

#### 【タンデム型人工リーフ】



## ○総合的土砂管理対策の推進

河川、海岸、漁港等の各事業者が連携して、異常堆積土砂の除去対策および海岸侵食対策を一体となって実施する総合的な土砂管理を推進。

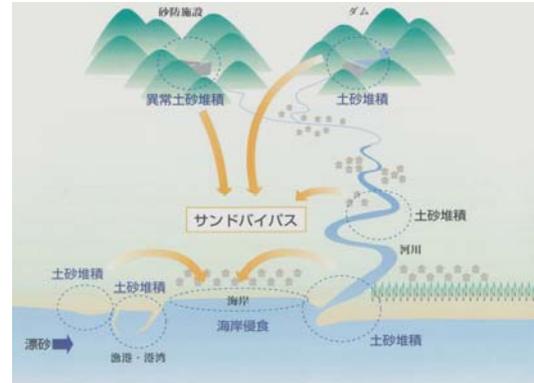
【サンドバイパス(静岡県 富士海岸)】



砂防事業での発生土砂を  
養浜材料として投入



【総合的土砂管理概念図】



【サンドリサイクル(鳥取県 皆生海岸)】



## ○砂浜の安定化への新たな取り組み

砂浜の海岸保全施設の指定に向けた取り組みとして、細粒砂ではなく、粗粒砂を用いた養浜による砂浜安定化を目指し、試行的に実施。【茨城県 鹿嶋海岸】

### 従来の養浜

鹿島港の浚渫土砂を養浜土砂として利用

ヘッドランド着手前から激しく侵食していた箇所において、養浜土砂が沖へ流出

粒径が細かい(0.1mm)ため、汀線付近で安定しない

### 粗粒砂を用いた養浜

粗粒砂(2mm以上)は汀線付近で安定することが予測計算(数値計算・現地試験)で確認済み

侵食の激しい地区でH17より粗粒砂(2.0mm以上)を用いた養浜を試行(予備試験)

試行結果を評価し、砂浜の安定化手法を確立

### 粗粒砂を用いた養浜の安定状況(アーマー化)



### 【予備試験結果(中間とりまとめ)】

予測計算結果と同様に現地でも養浜材の沖への流出はなく養浜の効果あり。

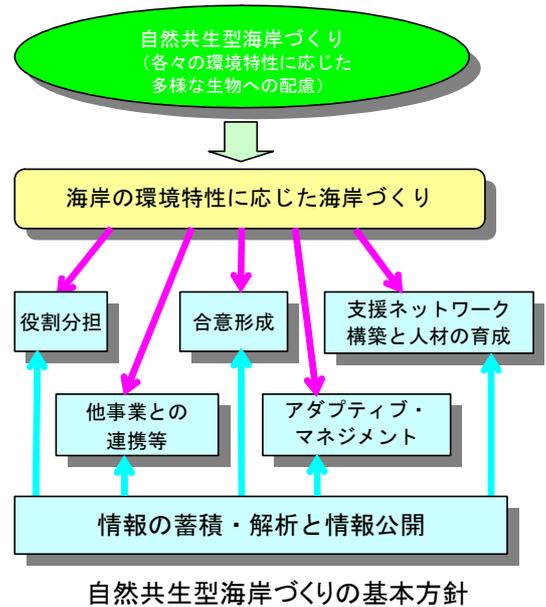
また、予測計算による効果以外に、粗粒砂によるアーマー化により、現地盤の移動抑制や岸方向漂砂(細砂)の捕捉効果があることも確認。

## 2. 防護・環境・利用の調和した海岸事業の推進

### ○自然共生型海岸づくりの推進

「自然共生型海岸づくり」とは、海岸法の目的である防護・環境・利用の調和を目指し、地域を中心とした関係者の合意形成等を通じて、地域の海岸特性をふまえた海岸環境の保全・再生を図る過程（プロセス）であり、これからの海岸整備や管理は、この考え方にに基づき進めていく必要。

自然共生型海岸づくりでは、関係者間の合意形成と役割分担、他事業との連携、アダプティブ・マネジメント等に取り組むとともに、これらの基礎となる海岸に関わる各種情報の蓄積と公開、支援ネットワーク構築や人材育成に努める方針。



### ・伊勢湾西南海岸〔三重県〕

伊勢湾西南海岸は、築堤後50年が経過し、堤防の老朽化が著しく、また、海岸侵食による砂浜の減少が進行していることから早期の整備が必要。一方、アカウミガメが産卵するなど、自然環境の保全に配慮が必要な海岸。事業の計画・実施にあたっては、地元の教育関係者、自治会、漁業関係者等からなる地域懇談会を現在まで4回実施し、計画を立案。

#### 地域とともに歩む海岸づくりを目的として地域懇談会を実施



#### 防護・環境・利用に関する意見を事業に反映



・生態系に配慮し近隣の砂を使用  
・環境教育の場の創設

子供たちと  
アカウミガメのふ化  
調査を実施



アカウミガメの  
上陸

## ・泉州(福島)海岸〔大阪府〕

大阪府南部に位置する泉州(福島)海岸は、大規模地震に備える護岸の耐震化が急務である一方、府下でも稀少な自然環境が残され、地域住民等による利用が盛んな海岸。このような状況を踏まえ、事業計画検討にあたり住民と行政担当者からなるワークショップを7回開催。

防護・環境・利用の調和のとれた計画が策定され、平成17年度から高潮対策事業に着手。

### 地震災害への対策

泉州(福島)海岸の背後には、近年住宅地や学校、工場などが密集し、地震時に既設護岸が倒壊するなど必要な防護機能が失われた場合には、浸水等で多大な被害を被るおそれが高く、護岸の地震への強化策が必要となっている。

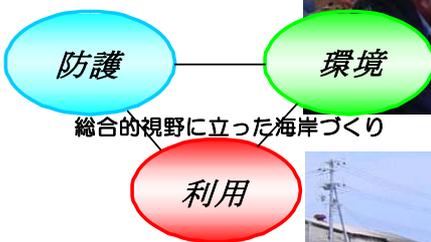
### 自然環境への配慮

泉州(福島)海岸周辺の海浜は、二級河川男里川河口に位置しており、大阪府における海岸において稀少な自然海岸・干潟であるとともに、貴重な海洋生物等が生息する豊かな自然環境が残されている。整備に向けては、自然環境保全への配慮が重要である。

### 利用環境の整備

泉州(福島)海岸周辺の海浜は、地元住民に利用されているが、現状は既設護岸沿いに消波ブロックが設置され、景観や親水性が阻害され、養浜部へのアクセスも階段が設置されているだけである。

海岸整備においては、適正な利用環境の創造による、地元市民の憩え・親しみのある海岸づくりを行う。



福島地区ワークショップ



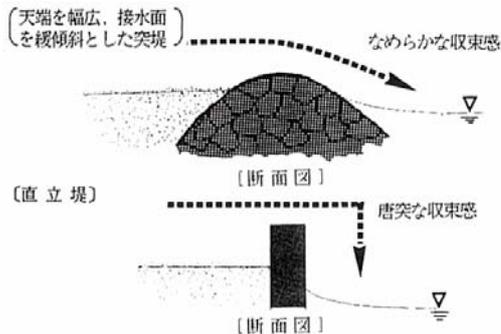
現地調査

## ○景観に配慮した海岸事業(海岸景観形成ガイドライン)

平成15年に「美しい国づくり政策大綱」が取りまとめられ、平成16年に「景観法」が成立するなど、今後の海岸事業の実施にあたっては、景観への更なる配慮が必要。

良好な海岸景観形成を図るため、行政関係者や市民等が、海岸と生活との関係を見直し、海岸の潜在的な魅力や課題を発見し、地域の価値向上を図るための海岸の整備や取組みの方策を示す「海岸景観形成ガイドライン」を策定。(平成18年1月 海岸省庁共同)

本ガイドラインは、海岸保全基本計画の改訂時や海岸事業を実施する場合の事前検討等に活用。



砂浜端部に滑らかな収束感を与える突堤の例

## ○人々が親しみやすい海岸づくり

・コースタル・コミュニティ・ゾーン整備(C. C. Z.)

社会基盤整備事業(公園・道路・下水道・治水等)と連携して海辺の交流拠点を創出。



原町シーサイドパーク  
(福島県 南相馬市 北泉大磯海岸)

・いきいき・海の子・浜づくり

少年自然の家等の教育関連施設整備や野外学習、環境教育支援プログラムの実施と連携し、緩傾斜堤防、海浜静穏域の形成のための人工リーフ等を整備。



(鹿児島県 垂水市 垂水海岸)



(兵庫県 淡路市 田之代海岸)

・観光振興に資する海岸整備

都市の観光地において高潮災害等を防止し、国内外の交流の場であり経済活性化上の重要な産業である観光振興を支援。



テーマパークと一体的に整備し、  
背後の都市を防護  
(千葉県 浦安市 浦安海岸)

### 3. 事業効果の事例

#### ○水門の遠隔操作により津波被害を防止【岩手県田野畑村】

**水門の遠隔操作化により、津波来襲前に閉鎖完了**

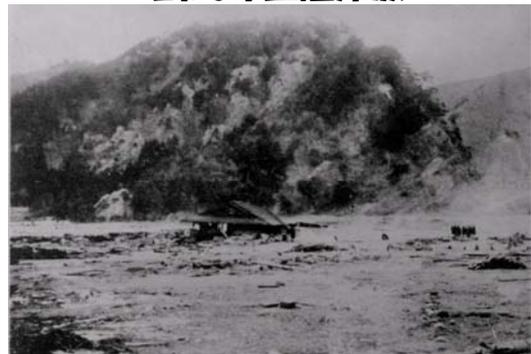
岩手県田野畑村では明治29年の三陸沖地震大津波により被災者143名を記録するなど、過去に幾度も津波による甚大な被害を受けている。このため、津波・高潮危機管理対策緊急事業にて水門の遠隔操作化を実施中。

これにより、地震発生後35分で到達が予想される津波から水門操作員を含めた背後住民の人命及び財産を守ることが可能。

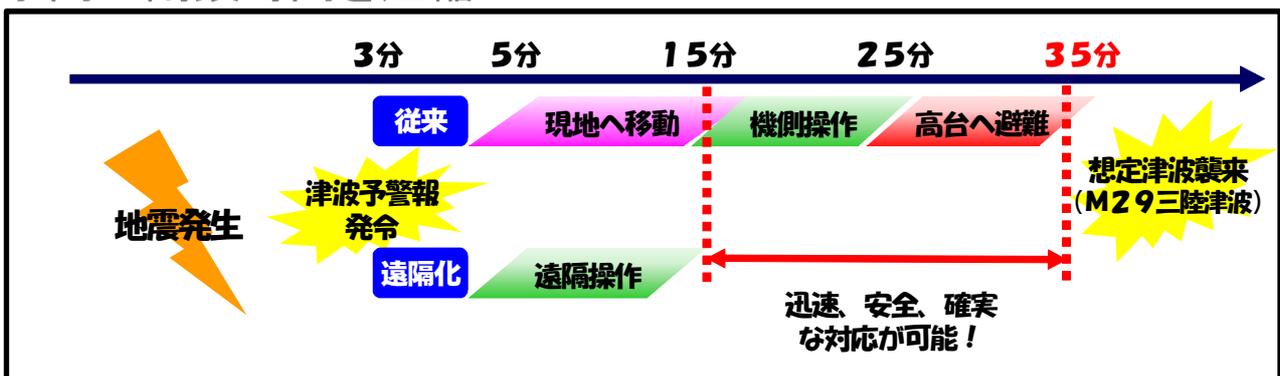
位置図



昭和8年三陸津波



#### 水門の閉鎖時間を短縮



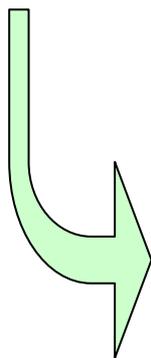
遠隔操作を行うことで、従来に比べ**約20分閉鎖時間を短縮**することが可能

○離岸堤、人工リーフの整備により河川供給土砂を補足し砂浜を回復  
【富山県黒部市】

離岸堤、人工リーフの整備が波浪を低減し、砂浜を回復

富山県下新川海岸は、冬期風浪の影響による侵食が著しく、近年においても希少な砂浜が喪失する危機。侵食対策として離岸堤や人工リーフの整備により、波浪を低減し、河川からの供給土砂を的確に捕捉することで、砂浜が約40m回復。

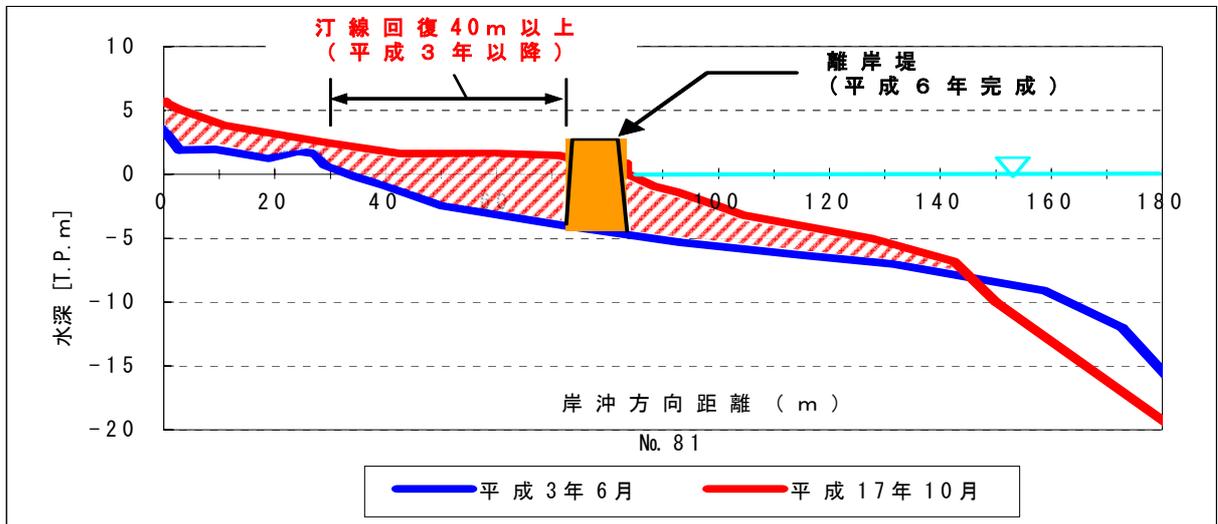
整備前の侵食状況



事業実施前の汀線

人工リーフ

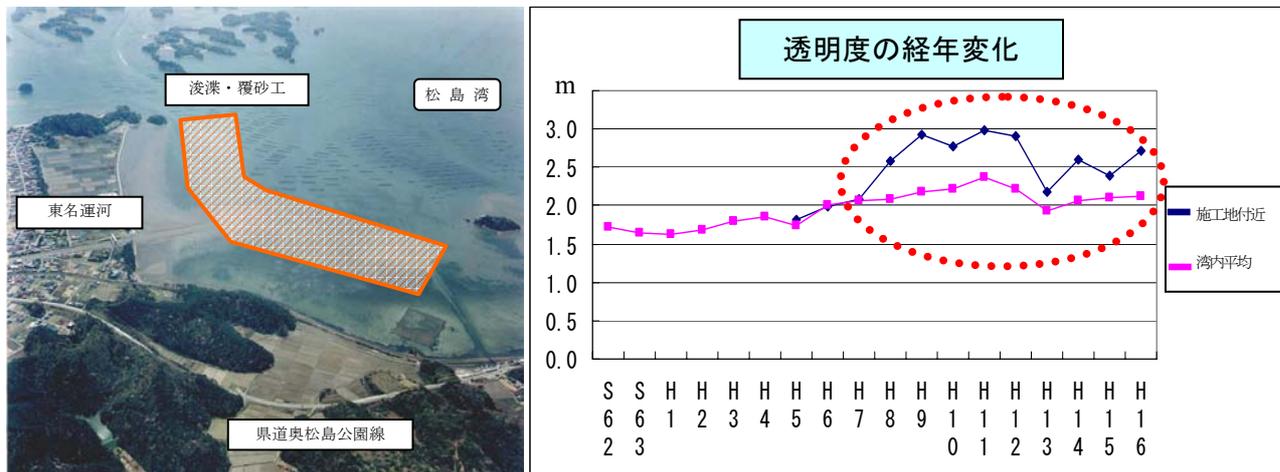
整備後の砂浜回復状況



## ○浚渫・覆砂により松島湾の海域浄化に寄与【宮城県東松島市】

### へド口の浚渫及び覆砂により、松島湾の水質が改善

宮城県鳴瀬長浜海岸は、松島湾奥部に位置し、県内有数の潮干狩り場であり、カキ養殖も盛んな海域であるが、産業の発展・都市化に伴い湾内の水質悪化が進行していた。海域浄化対策として浚渫・覆砂工を実施し、松島湾の水質は、目標値に対し着実に改善。



浚渫・覆砂の施工箇所付近では透明度が改善

## ○防護機能の向上と海岸利用に配慮した親水性豊かな海岸整備

【兵庫県淡路市】

### 防護水準の向上とともに、海岸利用者の大幅増に寄与

兵庫県多賀海岸は、多賀の浜海水浴場として利用されてきたが、度重なる台風や冬期風浪等の侵食により海浜が消失し、県道上まで越波するようになった。そこで、護岸改良による防護機能の向上を図るとともに、海水浴等の利用に配慮した親水性豊かな海岸整備を実施。

淡路島外からの利用者が多く、利用者の満足度も高い上に、隣接海岸で越波が発生する日でも当海岸では越波なし。



**○侵食防止効果**  
 平成2年 0.5m/年 (整備前)  
 → 平成16年 0m/年 (整備後)

**○越波防止効果**  
 平成2年 17日 (整備前)  
 → 平成16年 0日 (整備後)

**○海水浴客数増加**  
 平成2年 0人 (整備前)  
 → 平成17年 30,400人 (整備後)

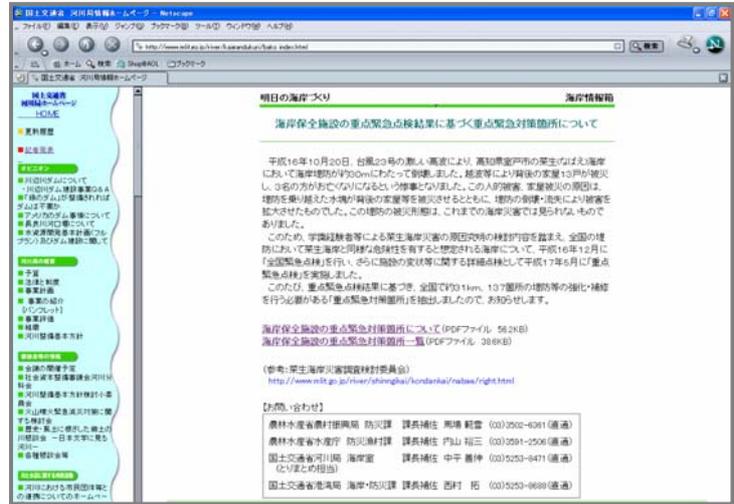
## 第4 事業の客観性・透明性の確保

### ○情報の一層の公開

河川局海岸室では、積極的に情報公開に努めている。

- ・ 海岸保全施設の重点緊急点検結果に基づく重点緊急対策箇所について

高知県菜生海岸災害の教訓を踏まえ、同様の危険性を有すると想定される海岸について、緊急に対策が必要な重点緊急対策箇所を抽出し、海岸毎に公表。概ね5年で対策を実施し、安全の確保に努める。



- ・ 海岸技術懇談会について

防護・環境・利用の調和した海岸整備に関わる課題の解決に必要な海岸技術に関する様々な施策を体系的に研究するため、平成17年に海岸工学の研究者の方々による海岸技術懇談会を開催。津波、高潮、侵食対策について議論頂き、議事内容を公開。今後とも継続的に議論頂く予定。



### ○新規施策、新規事業要求時には、事前に評価を実施し公表

- ・ 政策アセスメント（事前評価）の実施

海岸耐震対策緊急事業の創設、直轄海岸災害関連緊急事業の創設、災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策緊急事業の拡充について概算要求するに当たり、必要性・効率性・有効性の観点から厳しくチェックし、特に必要性の観点からは目標と現状の乖離の把握やその原因分析・課題の特定を行うなど政策アセスメントを実施。

- ・ 個別公共事業評価（新規事業採択時評価）の実施

宮崎海岸の新規直轄化及び新潟海岸の延伸を要求するに当たり、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、費用対効果分析を含め、必要性・効率性・有効性等の観点から総合的に新規事業採択時評価を実施。

## 第5 地域との連携の促進と海岸愛護の啓発

### 海岸漂着ゴミに係るシンポジウムの実施

海岸室では、これまでNPO、学識経験者、行政等の関係者が参加した「きれいな海辺アクトフォーラム」を開催し、海岸の美化について地域住民やボランティア等の協力を得ながら進めるとともに、参加しやすい仕組みづくり等について検討。

平成18年度には、海岸漂着ゴミに係る新たな対策への理解を深め、地域と行政が連携した取り組みを促進するため、NPO、学識経験者、行政等多数の関係者が参加するシンポジウムを開催。



第3回きれいな海辺アクトフォーラムの開催状況(H18.2.17)

### 海岸法50周年記念「明日の海岸を考えるシンポジウム」

平成18年度は海岸法制定から50周年にあたる。この記念事業として、海岸事業の効果や必要性、取り組みや今後の方向性について広く一般の方々に理解を深めていただくことを目的に、全国8都市で「明日の海岸を考えるシンポジウム」を開催(主催:各地方新聞社、全国新聞社連合会など)。また、開催の様子は各地方新聞紙上にも掲載。



「明日の海岸を考えるシンポジウム」開催日

8月 3日	静岡県浜松市
9月16日	新潟県新潟市
9月20日	宮城県仙台市
9月23日	兵庫県神戸市
9月30日	北海道苫小牧市
10月14日	広島県広島市
10月19日	福岡県福岡市
10月28日	高知県土佐市

明日の海岸を考えるシンポジウム in 静岡の開催状況(H18.8.3)

海岸室関係施策の詳しい内容については、以下のホームページ  
でご覧になれます。

〈河川局ホームページ〉

明日の海岸づくり

<http://www.mlit.go.jp/river/>